

K 1 20.4 1

27

2

版權所有

小學算術書

成美堂發兌

小學算術書卷之貳

編纂主意

一 第二卷ハ一年生後半期十一以上二十以下の數を扱ゆる事ありて編纂の趣向前半期と異なることふまじし繪畫を少くし符號より數字に移り而して少しづつ父兄の手を離れしむるの方案を取れり故に問題の文字等も讀本の文字より一層低度乃至文字を用ふる生徒を以て父兄の手を借らばして自ら習練せしむるやう勉めたり

小學算術書卷之貳

編纂主意

一 第二卷ハ一年生後半期十一月以

上二十以下の數を教ゆるよあ

ア編纂の趣向 前中期と異なる

ことふち只繪畫を少くし符號

より數字を移り而して少し

父兄の手を離れしむるの方

案を取れる故に問題の文字等

も讀本の文字より一層低度乃

文字を用ゐる生徒を以て父兄乃

手を借らざして自ら習練せし

むるやう勉めたり



一世の算術書加減乗除と云へば
一年生よま加法減法乗除法を
授くるの趣向を取れり此書一
年生二十以下の数ありてハ
高等の諸数と異ひて算術上
の所謂加法減法乗除法を須ひ
る單に分解結合の事業をふま
以て他日高等の諸数計算の基
礎を作らるの趣向を取れり又
ハ此點に注意せられんことを

編者誌

明治二十六年五月

小學算術書卷之貳

目次 十一以上二十以下の範圍
加減乗除

計數方

遞加計方第一、第二、

計數表 第一、第二、第三、
第四、第五、

算用數字の書方

日本數字と算用數字の比較

數の分割結合の事業

應用問題

盤上の分割結合

加減問題 第一、第二、

乗除問題

小學算術書卷之貳

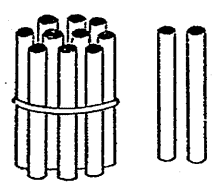
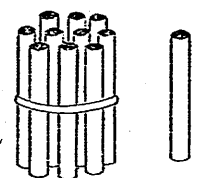
生徒用
編纂

計數方

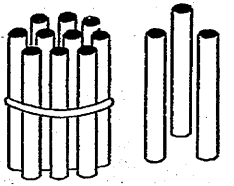
左乃圖ハ十本を一纏と云うれへ
一本を足とて十一本を足とて
十二など計へあはせて日本數
字を教ゆるものなり

十一

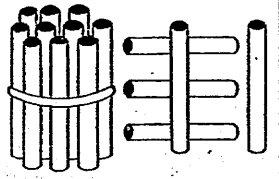
十二



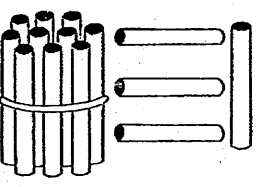
十三



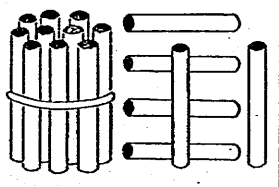
十五



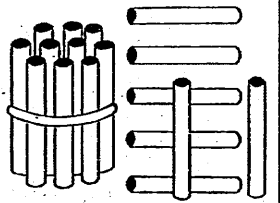
十四



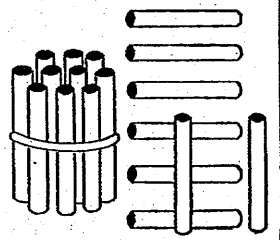
十六



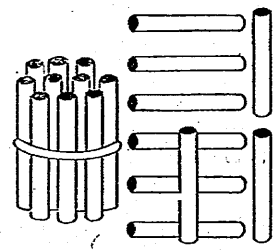
十七



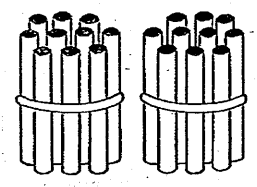
十八



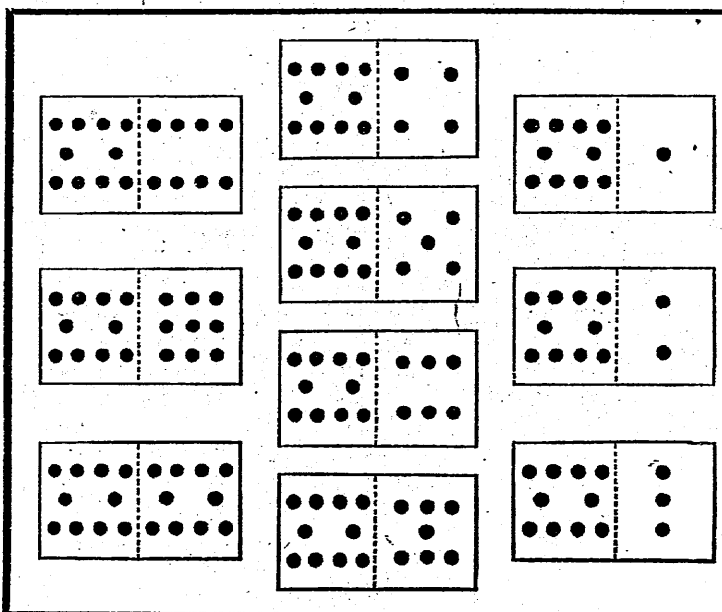
十九



二十



又數圖の形にてあらわせば



左に計數表は前半期のものと
 同じく一より二十に至る數を計ふ
 ために設けたるなり計へ方

第一遞加計方

- (一) 一 二 三 四 五 より 二十 至る
- (二) 一の次は二なり二は次は三
 三よりより二十に至る
- (三) 一と一とは二あり二と一
 とを三ありより二十に至る

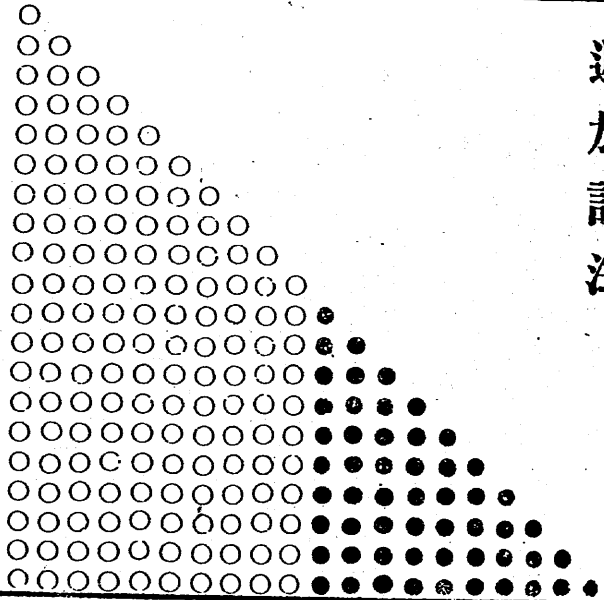
第二遞減計方

- (一) 二十 十九 十八 等
- (二) 二十は前は十九十九は前

は十八等

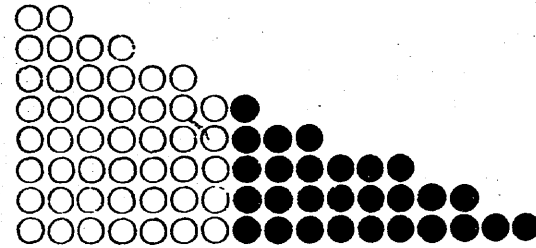
(三) 二十より一少きハ十九、十九より一少きハ十八等

遞加計法

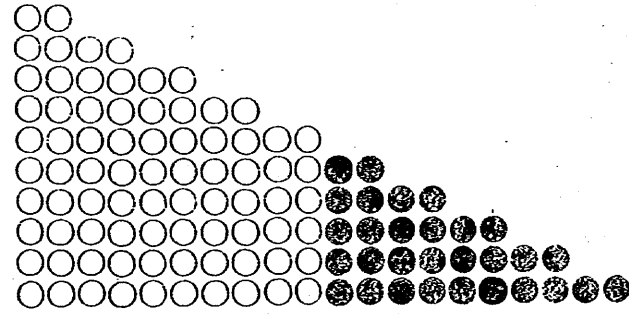


一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

第一計數表

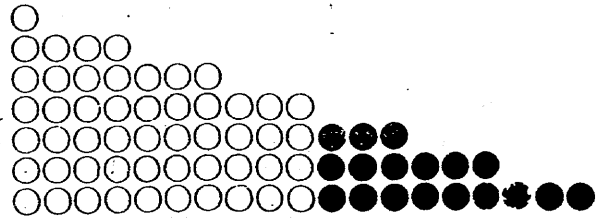


第二計數表

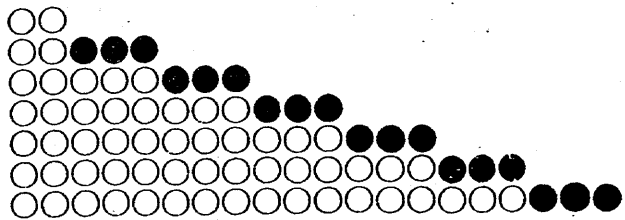


左の第三計數表は上より一四七
 十等下よりは十九十六十三等
 第四計數表は上より二五八等下
 より二十十七十四、
 第五計數表は上よりは三六九、十
 二等下よりは十八十五十二等、

第三計數表

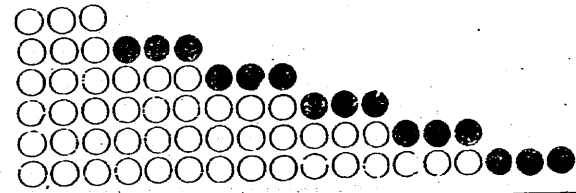


第四計數表



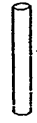
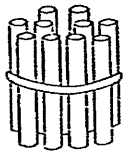
九

第五計數表



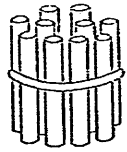
算用數字書方

左の圖畫ハ圖畫と數字并べ現し
 十一、十二より二十までの書方を
 教ゆる爲めよ出せしなり
 (師たる者も十も一も一と書
 くも十の1は十つ一を現す
 し一の1と字同じけれとも價
 の異なる理をよく説明すべし



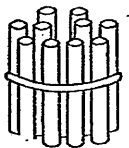
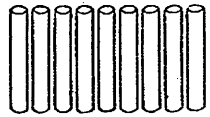
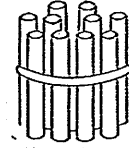
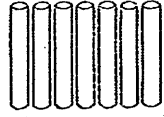
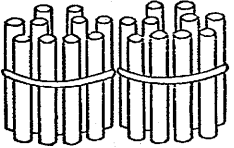

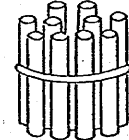
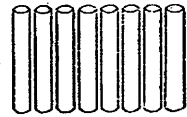
1

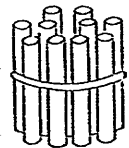
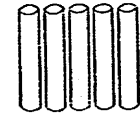
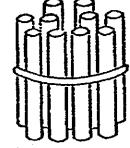
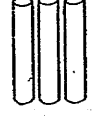
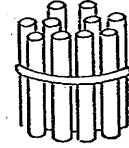
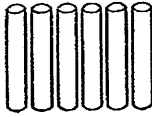
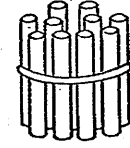
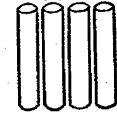
1



1

2

 1	 9	 1	 7
 2	 0	 1	 8

 1	 5	 1	 3
 1	 6	 1	 4

十一、十二より二十までの書方を
教へ終らば左の數字を説き聞か
せ又は石盤へ書取らしむべし
とへば(10+1)十に一とを(11)十一なり
のごとく

$$10 + 1 = 11$$

$$10 + 2 = 12$$

$$10 + 3 = 13$$

$$10 + 4 = 14$$

$$10 + 5 = 15$$

$10 + 1 = 11$	$10 + 6 = 16$
$11 + 1 = 12$	$10 + 7 = 17$
$12 + 1 = 13$	$10 + 8 = 18$
$13 + 1 = 14$	$10 + 9 = 19$
$14 + 1 = 15$	$10 + 10 = 20$

$$15 + 1 = 16$$

$$16 + 1 = 17$$

$$17 + 1 = 18$$

$$18 + 1 = 19$$

$$19 + 1 = 20$$

日本數字と算用數字の比較

$$11 = 十一$$

$$12 = 十二$$

$$13 = 十三$$

$$14 = 十四$$

$$15 = 十五$$

$$16 = 十六$$

$$17 = 十七$$

$$18 = 十八$$

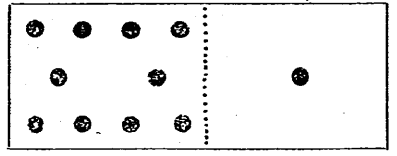
$$19 = 十九$$

$$20 = 二十$$

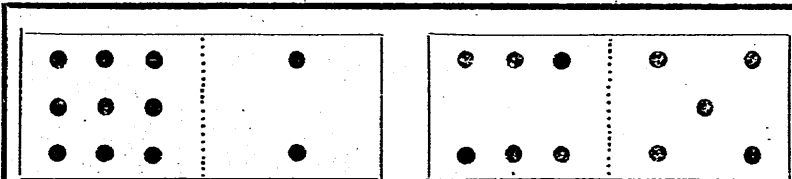
数の分割結合の事業

是より数の分割結合の事業より
 るあり分割結合の説明は第一巻
 にて其大要を辨じられたれども今少
 し十以下と十以上と其教授の
 異なる所を説明すべし
 たとはば八や五の數圖を就て
 八に五を加へんは先づ八より二
 を加へて十とあはして此二を五
 より引けば三である次に此三を
 十に加へ十三を得るが如し又五
 を十三より引くは先づ三を引
 きて十を得次に五より三を引
 きたる残りの二を引くなり

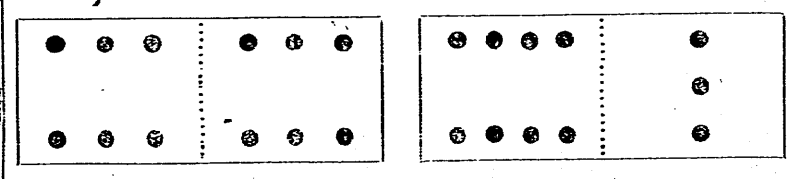
十以下の數圖に於ては右の如き
 説明は要用あり十以上に於ては
 成るべく實物を用いて此關係を能く
 説き聞かせて數圖を教ゆべし



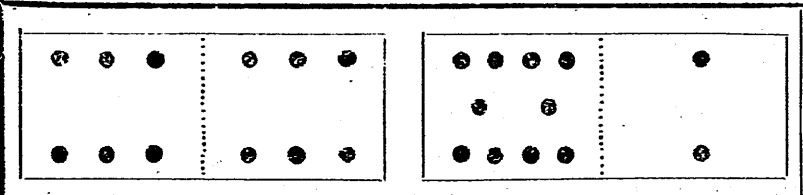
- 分割結合の説きあか
- (土) し
- 一 十一タス十一
 - 一 二十ダス十一
 - 十 十一ヨリ一ヒク
 - 一 十一ヨリ十ヒク



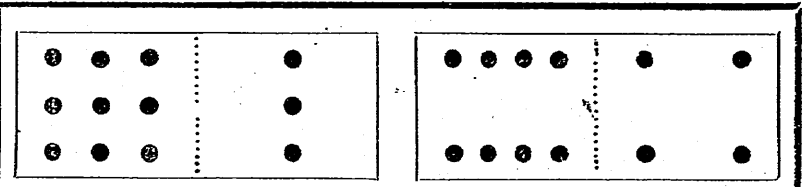
又六ニ五タス十一
 五ニ六タス十一
 十一ヨリ五ヒク
 六
 十一ヨリ六ヒク
 五
 又九ニ二タス十一
 二ニ九タス十一
 十一ヨリ二ヒク
 九
 十一ヨリ九ヒク
 二



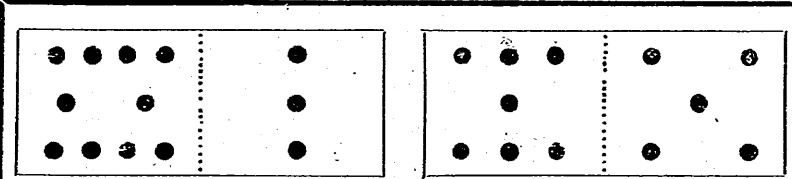
又八ニ三タス十一
 三ニ八タス十一
 十一ヨリ三ヒク
 八
 十一ヨリ八ヒク
 三
 又七ニ四タス十一
 四ニ七タス十一
 十一ヨリ四ヒク
 七
 十一ヨリ七ヒク
 四



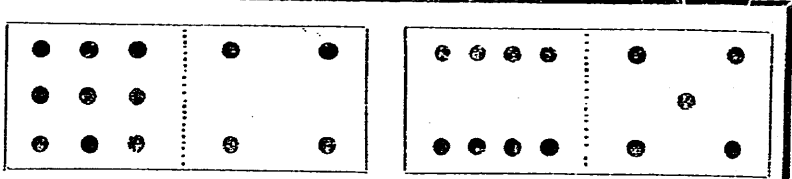
(三) 十二ニ二タス十二
 二十ニ十タス十二
 十二ヨリ二ヒク
 十
 十二ヨリ十ヒク
 二
 又六ニ六タス十二
 十二ヨリ六ヒク
 六
 二ノ六倍ハ十二
 十二ノ半分ハ六
 十二ノ六分ノ一
 ハ二



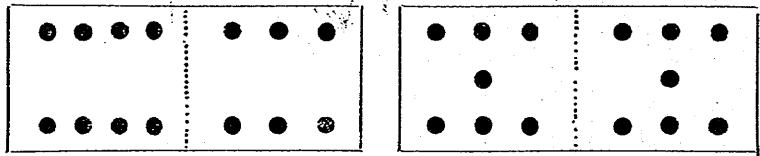
又八ニ四タス十二
 四ニ八タス十二
 十二ヨリ四ヒク
 八
 十二ヨリ八ヒク
 四
 又九ニ三タス十二
 三ニ九タス十二
 十二ヨリ三ヒク九
 十二ヨリ九ヒク三
 三ノ四倍ハ十二
 十二ノ四分ノ一ハ
 三



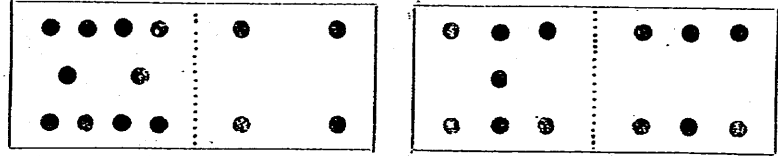
又七ニ五タス十二
 五ニ七タス十二
 十二ヨリ五ヒク
 七
 十二ヨリ七ヒク
 五
 (吉) 十二ニ三タス十三
 三ニ十タス十三
 十三ヨリ三ヒク
 十
 十三ヨリ十ヒク
 三



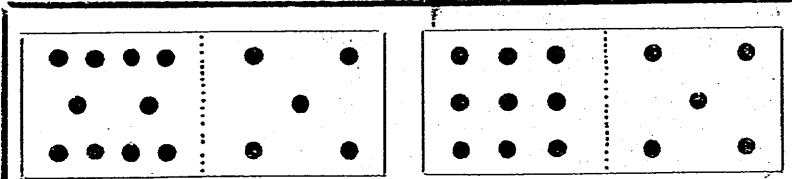
又八ニ五タス十三
 五ニ八タス十三
 十三ヨリ五ヒク
 八
 十三ヨリ八ヒク
 五
 又九ニ四タス十三
 四ニ九タス十三
 十三ヨリ四ヒク
 九
 十三ヨリ九ヒク
 四



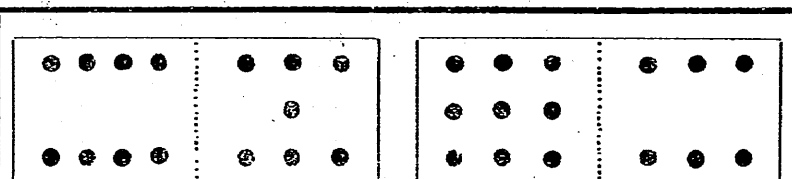
又七ニ七タス十四
 十四ヨリ七ヒク
 七
 七ノ二倍ハ十四
 十四ノ半分ハ七
 又八ニ六タス十四
 六ニ八タス十四
 十四ヨリ六ヒク
 八
 十四ヨリ八ヒク
 六
 二ノ七倍ハ十四
 十四ノ七分ノ一
 八二



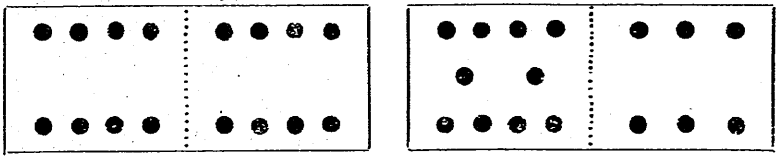
又七ニ六タス十三
 六ニ七タス十三
 十三ヨリ六ヒク
 七
 十三ヨリ七ヒク
 六
 (古) 十二四タス十四
 四ニ十タス十四
 十四ヨリ四ヒク
 十
 十四ヨリ十ヒク
 四



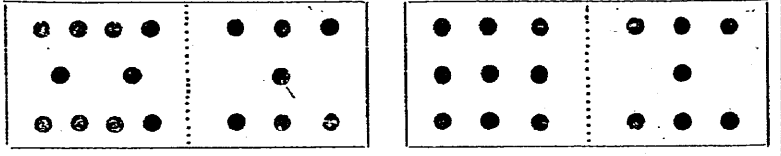
又九ニ五タス十四
 五ニ九タス十四
 十四ヨリ五ヒク
 九
 十四ヨリ九ヒク
 五
 (圭)
 十二五タス十五
 五ニ十タス十五
 十五ヨリ五ヒク十
 十五ヨリ十ヒク五
 五ノ三倍ハ十五
 十五ノ三分ノ一
 ハ五



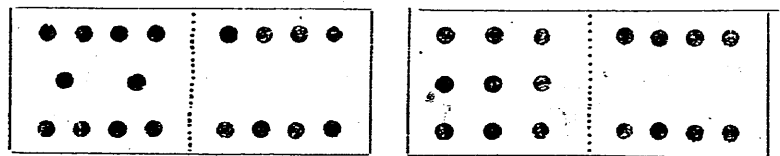
又九ニ六タス十五
 六ニ九タス十五
 十五ヨリ九ヒク
 六
 十五ヨリ六ヒク
 九
 又八ニ七タス十五
 七ニ八タス十五
 十五ヨリ七ヒク
 八
 十五ヨリ八ヒク
 七



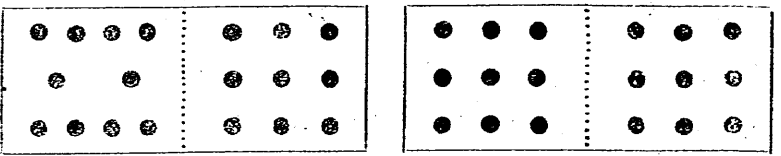
(去) 十二六タス十六
 六ニ十タス十六
 十六ヨリ六ヒク
 十
 十六ヨリ十ヒク
 六
 又八ニ八タス十六
 十六ヨリ八ヒク
 八
 二ノ八倍ハ十六
 十六ノ半分ハ八
 四ノ四倍ハ十六
 十六ノ四分ノ一
 ハ四



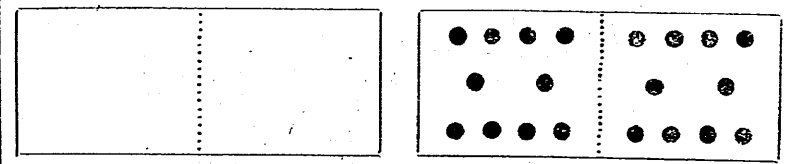
又九ニ七タス十六
 七ニ九タス十六
 六ヨリ七ヒク
 九
 十六ヨリ九ヒク
 七
 (老) 十二七タス十七
 七ニ十タス十七
 十七ヨリ七ヒク
 十
 十七ヨリ十ヒク
 七



又九ニ八タス十七
 八ニ九タス十七
 十七ヨリ八ヒク
 九
 十七ヨリ九ヒク
 八
 (六) 十ニ八タス十八
 八ニ十タス十八
 十八ヨリ八ヒク
 十
 十八ヨリ十ヒク
 八



又九ニ九タス十八
 十八ヨリ九ヒク
 九
 二ノ九倍ハ十八
 十八ノ半分ハ九
 三ノ六倍ハ十八
 十八ノ六分ハ三
 八三
 十ニ九タス十九
 九ニ十タス十九
 十九ヨリ九ヒク
 十
 十九ヨリ十ヒク
 九



(甲) 十ニ十タス二十
 二十ヨリ十ヒク
 十
 二ノ十バイハ二
 十
 二十ノハンブ
 ハ十
 五ノ四バイハ二
 十
 二十ノ四分ノ一
 ハ五

以上分割結合を授くる間時々左
 れ如き應用問題を出し生徒を
 て暗算よて口答又ハ筆答せしめ
 記載れ事項を練習せしむること
 に注意すべし

フ
 デ

- 十ポイント一ホンハ、
- 六ポイント五ホンハ、
- 十一ポイントカラ五ホ
 ントレバ
- 九ポイント二ホンハ
- 十一ポイントカラ九ホ
 ントレバ
- 七ポイント五ホンハ

ゼニ

一リンツ、十八
 一セント三リンハ、
 一セン三リンノナ
 カニ一リンガイク
 ツアル
 六リント四リンハ、
 八リント五リンハ、
 三リント九リンハ、
 一セン三リンカラ
 三リントレバ
 一セン三リンカラ
 四リントレバ

コメ

ミカシ

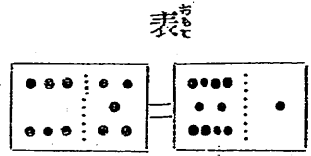
一シヤウ六センノ
 トキニシヤウハ
 一シヤウ七センノ
 トキニシヤウハ
 五シヤウトニシヤ
 ウハ
 三シヤウト六シヤ
 ウハ
 七ツト七ツハ
 二ツツ、七ツハ
 十四ノハンブシハ、
 八ヨリ七トレバ

カ	ミ	九	マ	イ	ト	七	マ	イ	ハ、
サ	ル	十	六	カ	ラ	七	マ	イ	ト
		レ	バ	八	マ	イ	ト	八	マ
		八	マ	イ	ツ、	ニ	ニ	ン	
		モ	ダ	バ					
		十	六	マ	イ	ヲ	ニ	ニ	ン
		ニ	ワ	ク	レ	バ			
		十	ビ	キ	ト	七	ヒ	キ	ハ、
		七	ヒ	キ	ト	九	ヒ	キ	ハ、
		十	八	ヒ	キ	ノ	ハ	ン	ブ
		ン	ハ						

以上三ヶ月ノ課程トス

數の分割結合を終らば前の分割結合圖を數字に改め又は數字を分割結合圖に改むべし本書表に圖を現はし裏に數字を現はしければ表代圖によりて裏の字を書き裏の數字によりて表の圖を作らべし

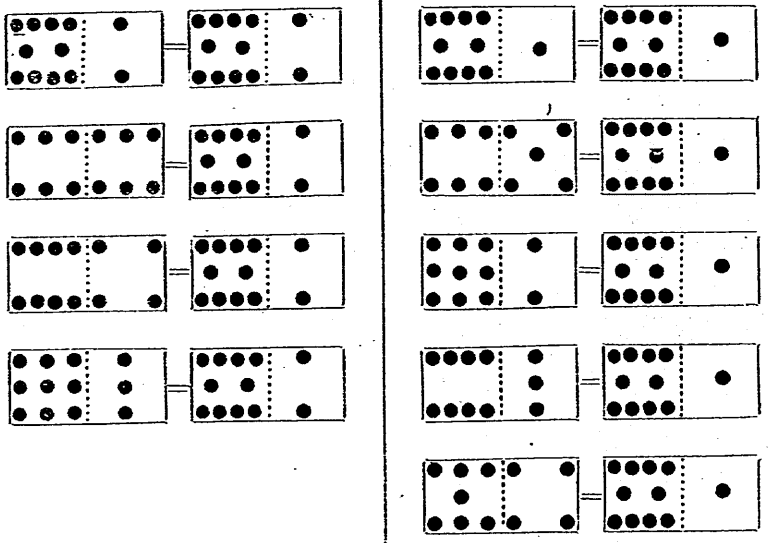
たとへば

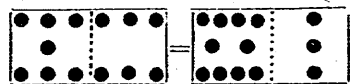
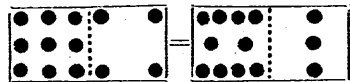
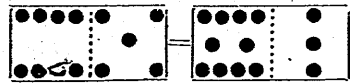
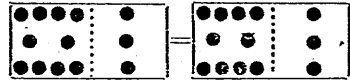
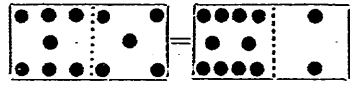
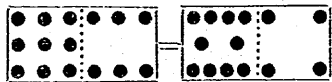
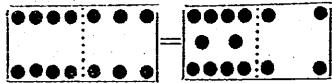
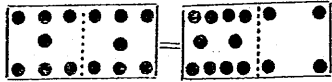
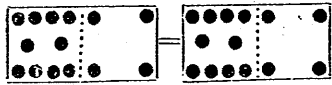


裏

6 + 5 = 11

又教師は之れを口唱して石盤上
 よ答を書かしめ又裏の數字を與
 へて答を口唱せしむるまゝとある
 べしとへば六と五と教師口
 唱ちて兒童其答を石盤に書し
 又⁵と木盤に教師書き示し兒童
 又⁶と木盤に教師書き示し兒童
 其答を口唱するが如し





$$10 + 2 = 12$$

$$6 + 6 = 12$$

$$8 + 4 = 12$$

$$9 + 3 = 12$$

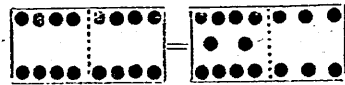
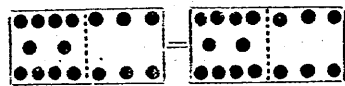
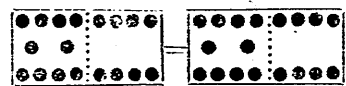
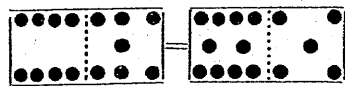
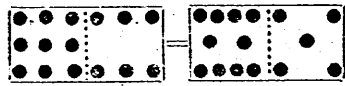
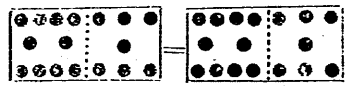
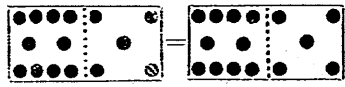
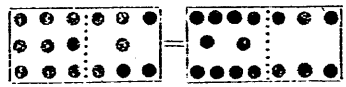
$$10 + 1 = 11$$

$$6 + 5 = 11$$

$$9 + 2 = 11$$

$$8 + 3 = 11$$

$$7 + 4 = 11$$



$$10 + 4 = 14$$

$$7 + 5 = 12$$

$$7 + 7 = 14$$

$$10 + 3 = 13$$

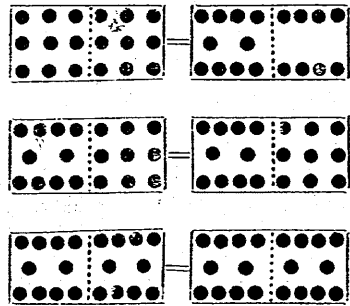
$$8 + 6 = 14$$

$$8 + 5 = 13$$

$$9 + 5 = 14$$

$$9 + 4 = 13$$

$$7 + 6 = 13$$



$9 + 7 = 16$

$10 + 7 = 17$

$9 + 8 = 17$

$10 + 8 = 18$

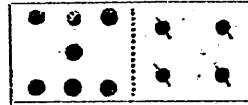
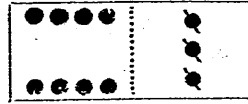
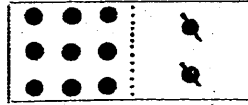
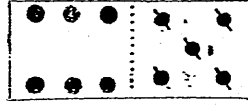
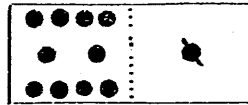
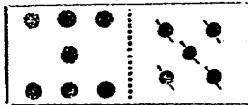
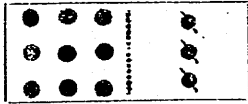
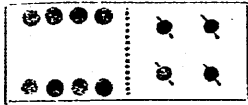
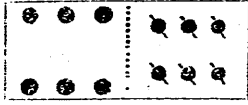
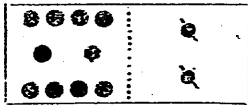
$10 + 5 = 15$

$9 + 6 = 15$

$8 + 7 = 15$

$10 + 6 = 16$

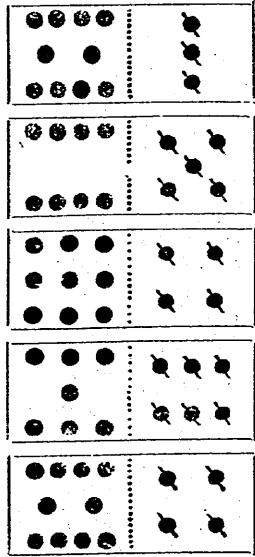
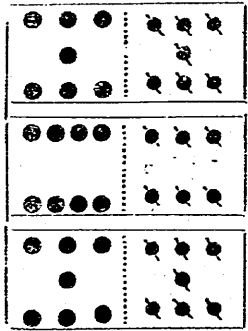
$8 + 8 = 16$



$$9 + 9 = 18$$

$$10 + 9 = 19$$

$$10 + 10 = 20$$



$$12 - 2 = 10$$

$$12 - 6 = 6$$

$$12 - 4 = 8$$

$$12 - 3 = 9$$

$$12 - 5 = 7$$

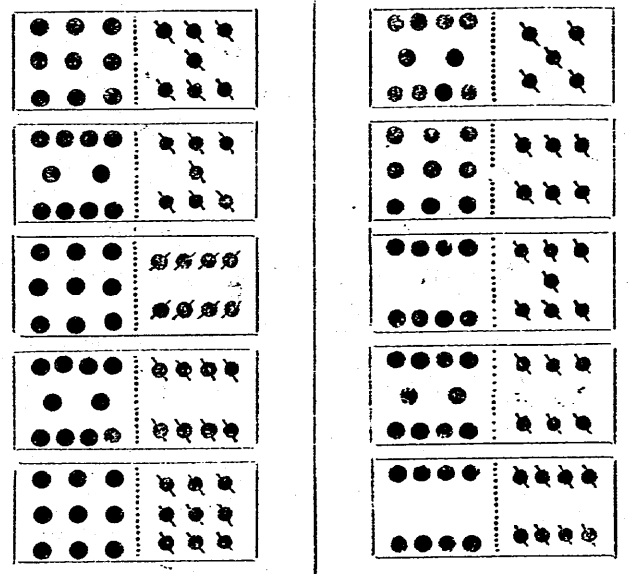
$$11 - 1 = 10$$

$$11 - 5 = 6$$

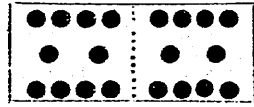
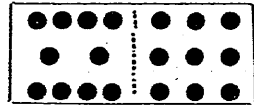
$$11 - 2 = 9$$

$$11 - 3 = 8$$

$$11 - 4 = 7$$



$14 - 7 = 7$	$13 - 3 = 10$
$14 - 6 = 8$	$13 - 5 = 8$
$14 - 5 = 9$	$13 - 4 = 9$
	$13 - 6 = 7$
	$14 - 4 = 10$



$$16 - 7 = 9$$

$$17 - 7 = 10$$

$$17 - 8 = 9$$

$$18 - 8 = 10$$

$$18 - 9 = 9$$

$$15 - 5 = 10$$

$$15 - 6 = 9$$

$$15 - 7 = 8$$

$$16 - 6 = 10$$

$$16 - 8 = 8$$

$$19 - 9 = 10$$

$$20 - 10 = 10$$

加減問題第一

- (1) セキヒツ五ホント六ボ
- (2) ミカン四ツト八ツトハ
- (3) チヨ八ヒキト九ヒキト
- (4) ガラス七ハト八ハトハ
- (5) カミ六マイト七マイト
- (6) ハナシマイ

(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)
マ	ツ	ナ	セ	本 ^キ	十
ン	ト	シ	ン	ヲ	四
デ	レ	十		カ	錢 ^セ
ウ	バ	六		ヘ	モ
七	ノ	ヨ		バ	ナ
ツ	コ	リ		ノ	テ
ト	リ	七		コ	八
五	イ	ツ		リ	セ
ツ	ク	ト		ナ	ン
ノ	ツ	九		ン	ノ

(17)	(16)	(15)	(14)
ウ	シ	ツ	ウ
サ	ハ	ン	イ
ギ	八	ビ	ク
十	本 ^キ	キ	ツ
七	ミ	ウ	六
ヒ	ナ	レ	ツ
キ	テ	バ	ク
ヨ	十	ノ	ヘ
リ	一	コ	バ
十	錢 ^セ	ノ	ノ
	ノ	ア	コ
		メ	リ

(18) 一ビキトレバノヨリナ
 ンビキ
 クッ十八本ヨリ九本ト
 レバノヨリナン本
 (19) マツ二十本ノウチ十一
 本
 キレバノヨリナン本
 (20) エンピツ十五本ヨリ七
 本
 トレバノヨリナン本

乗除問題

(1) モ、六ツツ、二ドモラ
 ヒマストイクツ
 (2) 十二ノモ、ヲ六ニンデ
 ヲケマストイクツツ、
 (3) 十二ノナシヲ二ニンデ
 ヲケルト一ニンイクツ、
 (4) 三錢ノナシ四ツデイク
 ラ
 (5) 四ツ十二錢ノナシハ一
 ツイクヲ
 (6) 十四本ノエンピツヲ七

120.4

(20)	(19)	(18)	(17)
人 ^{ヒト} ノ ア シ ハ ナ ン 本 ^ホ	キ ^キ ツ 、 ツ リ シ カ	コ ^コ ド モ 九 ^ニ 人 ^{ヒト} テ フ ナ 十 八	ト ^ト 一 ^{ヒト} 人 ^{ヒト} ナ ン ビ キ
		ノ タ イ シ ヤ ウ ニ ワ ケ ル	十 六 ビ キ ノ ウ マ ヲ 八 人 ^{ヒト}
			ル ト 一 ク ミ ナ ン 人 ^{ヒト}
			二 十 人 ^{ヒト} ヲ 五 ク ミ ニ ワ ケ

定價金七錢

明治二十七年八月廿一日印刷
明治二十七年八月廿八日發行

愛知縣名古屋相生町十九番地
編纂者 尾關正求

發行兼印刷者 三浦源助

版權所有

東京日本橋區本材木町二丁目
發賣所 成美堂支店

大坂市備後町四丁目
代理店 石井鈎三郎

